

ロジガード株式会社

2023年6月期第3四半期 決算説明資料



01	23年6月期 第3四半期 事業環境	P2 - P5
02	通期予想の修正について	P6 - P8
03	23年6月期 第3四半期 施策振り返り	P9 - P17
04	23年6月期 第3四半期 決算概要	P18 - P21
	Appendix	P23 - P25

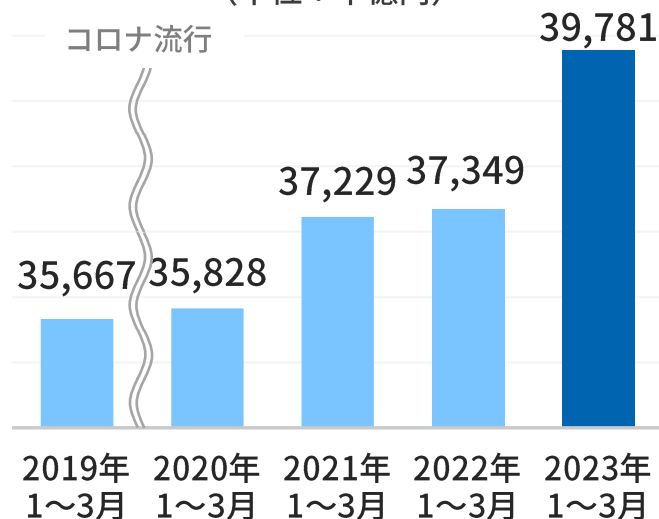
01 23年6月期 第3四半期 事業環境

23.6期 第3四半期 事業環境

- ▶ 国内経済：新型コロナウイルスによるストレスフルな生活から脱却していく過程にあり、消費需要はコロナ禍で控えられた外出型消費が復調。
- ▶ 世界情勢：資源や食料品の物価上昇と、インフレ対策での金融引き締めに伴った金融機能の不安定化など、先行きは不透明化。
- ▶ 小売業全体販売額：前年比増加、コロナ前水準でも増加。
- ▶ 実店舗販売：顕著に復調している。
- ▶ 無店舗小売業（通販）販売額：直近3年間は、ほぼ横ばい。

小売業全体販売額

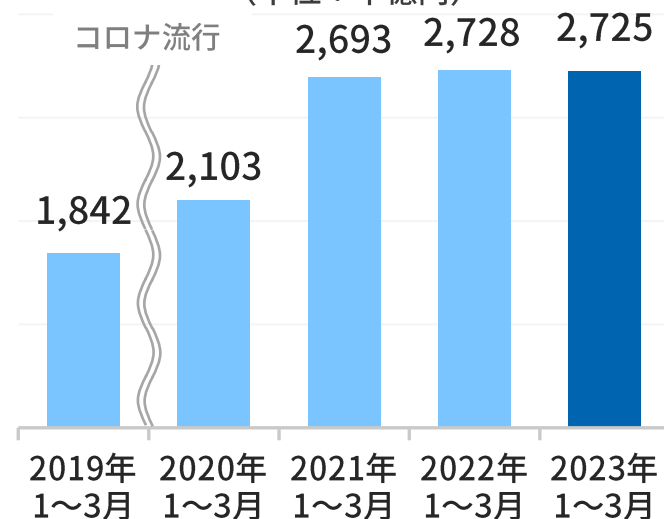
(単位：十億円)



出所：経済産業省HP「商業動態統計 業種別商業販売額」

内、無店舗小売業（通販）販売額

(単位：十億円)



出所：経済産業省HP「商業動態統計 業種別商業販売額」

今後の事業環境見通し

▶ 国内外の経済状況

→ 国内経済は、コロナ後の落ち着きを取り戻しつつある。

→ 一方で、世界経済の先行き不透明な影響は、今後の国内経済に様々な影響が生じると推察。

▶ 市場需要

→ オンラインの活用を前提として、ECのみではなく、実店舗もシームレスに統合するOMOマーケティングへ進化・発展。

→ この変化に対して、物流業界も社会生活のインフラとして多様な物流ニーズへ対応。

▶ 物流業界

→ 燃料価格の高騰や配送事業者のドライバー不足は送料へ転嫁。


→ 国内経済活動が回復するにつれ、以前からの課題であった人材不足は顕著。



今後の予断を許さない情勢には注視し、適切に対応しながら引き続き、倉庫・3PL企業の省力化・自動化の期待に応え、ECだけではない多様な物流ニーズに物流業界が対応できる機能提供に向け、製品開発や人材投資を積極的に進める。

当社事業面への影響と今後の方針

- ▶ EOS(エンドオブサービス)に伴う移行対応が完了し、EOS対応に割いていたリソースを製品開発と新規アカウント獲得へ投入。

- ▶  **ロジザードZERO** 引き続き、引き合いは前年同期比で増加。実店舗を含めた在庫一元管理ニーズのある準大手以上規模の引き合いが多い。



人材投資を順次行ない、アカウント積み上げスピードの維持・増加を果たしていく。

- ▶  **ロジザードZERO STORE**  **ロジザードOCC**
オムニチャネルエンジン コロナ後の新常态を意識した小売業界・物流業界がECのみならず、多様な物流ニーズに対応する中で引き合いが増加。



これらのニーズが今後も増加してくると推察し、導入キャパシティの増加・製品投資を先行して対応する。

02 通期予想の修正について

期初通期予想に対する達成率

(単位：百万円、%)

勘定科目	23.6期第3四半期実績		期初通期予想		達成率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	1,392	100.0%	1,824	100.0%	76.3%
クラウドサービス	1,088	78.2%	1,415	77.6%	76.9%
開発・導入サービス	247	17.8%	350	19.2%	70.5%
機器販売サービス	56	4.1%	58	3.2%	96.5%
売上原価	664	47.7%	950	52.1%	70.0%
売上総利益	727	52.3%	874	47.9%	83.2%
販売費及び一般管理費	484	34.8%	675	37.0%	71.7%
営業利益	243	17.5%	199	11.0%	122.0%
経常利益	243	17.5%	199	11.0%	121.9%
当期純利益	163	11.7%	139	7.6%	117.3%

通期予想の修正について

- ▶ 増収要因：人材獲得が順調に進み、導入キャパシティが増えた結果、クラウドサービスが想定以上に積み上げを果たすことができた。
- ▶ 増益要因：粗利率の良いクラウドサービスが積み上げられたこと。
また、広告宣伝費とクラウドサービス提供用のサーバー関連費用が想定以上に抑えられた。

(単位：百万円、%)

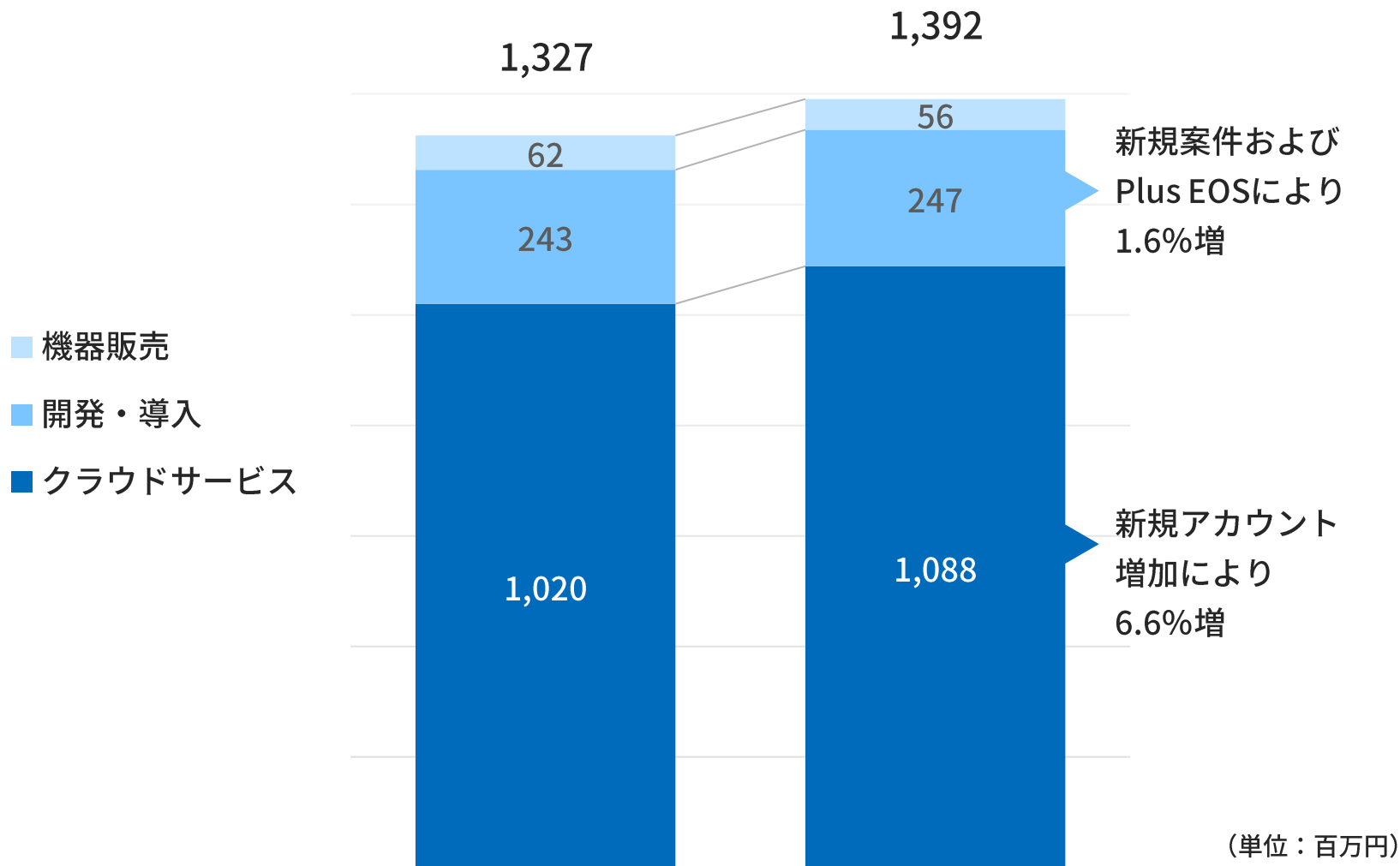
勘定科目	期初通期予想		今回修正予想		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	1,824	100.0%	1,860	100.0%	35	2.0%
クラウドサービス	1,415	77.6%	1,462	78.6%	47	3.4%
開発・導入サービス	350	19.2%	322	17.3%	-28	-8.0%
機器販売サービス	58	3.2%	75	4.0%	16	27.9%
売上原価	950	52.1%	900	48.4%	-49	-5.2%
売上総利益	874	47.9%	960	51.6%	85	9.8%
販売費及び一般管理費	675	37.0%	697	37.5%	22	3.3%
営業利益	199	11.0%	263	14.1%	63	31.6%
経常利益	199	11.0%	262	14.1%	63	31.6%
当期純利益	139	7.6%	176	9.5%	37	26.7%

03 23年6月期 第3四半期 施策振り返り

売上高増減の明細

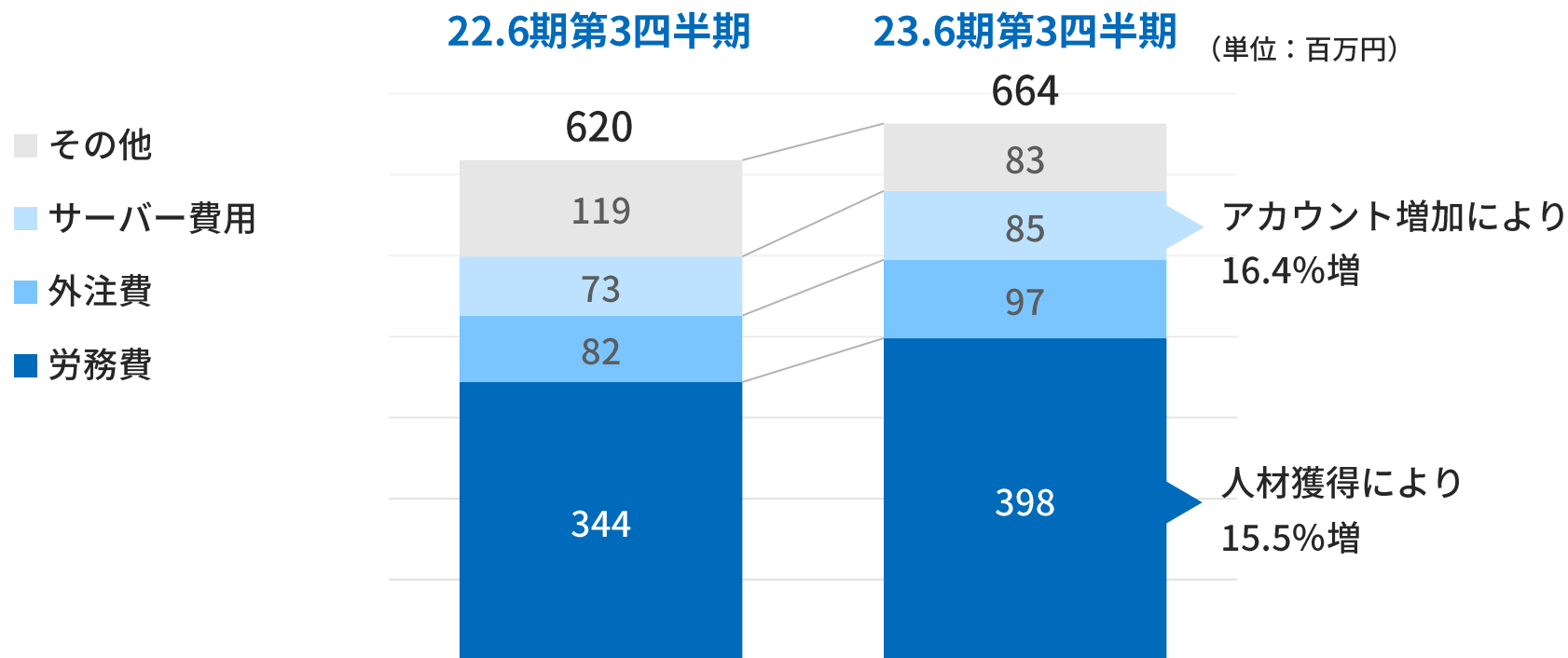
22.6期第3四半期

23.6期第3四半期



※22.6期は連結、23.6期は個別表記。23.6期Q3から非連結決算に移行したため、前期比較は参考数値

主な売上原価増減の状況



製品開発への投資状況

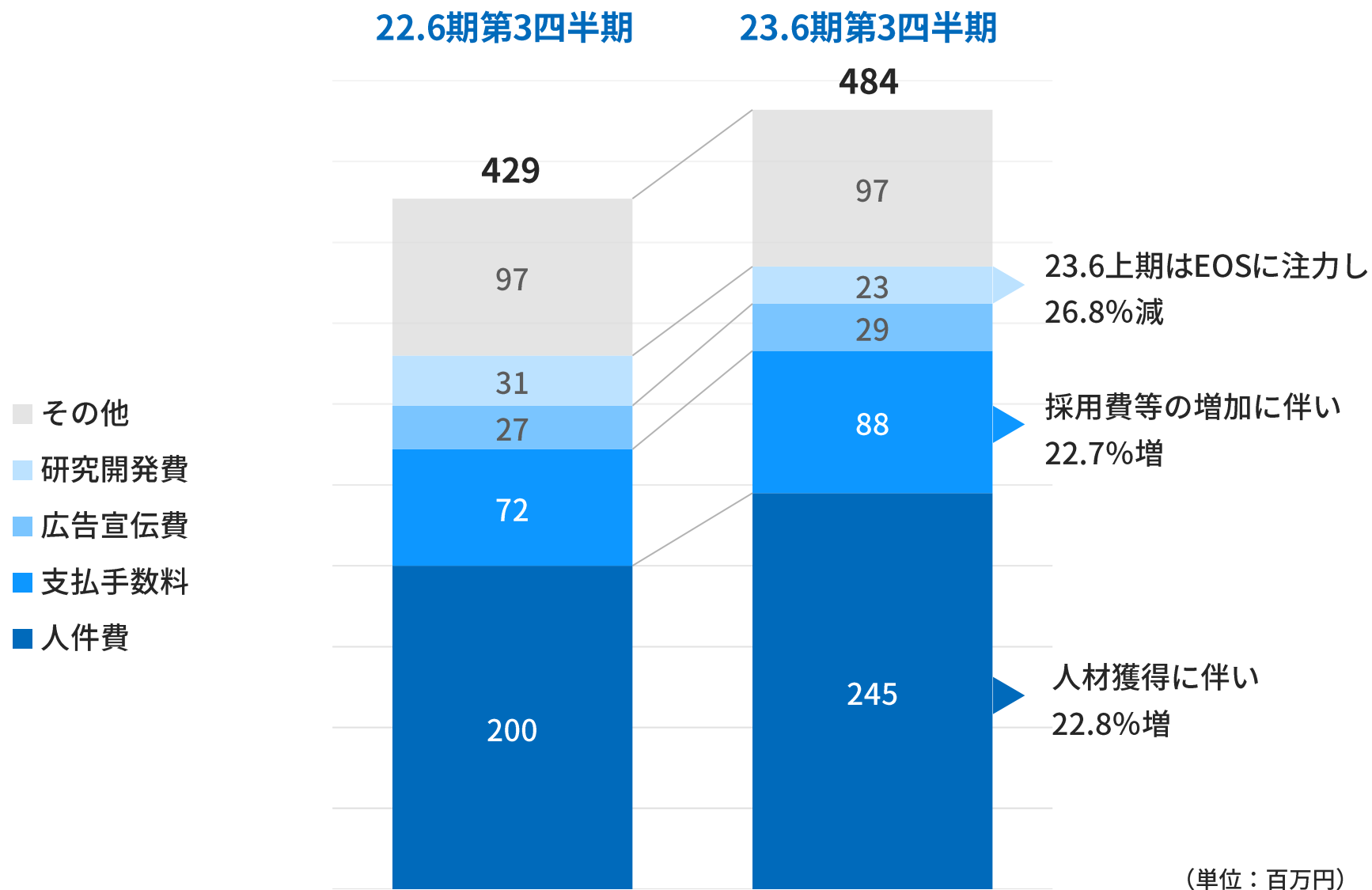
23.6上期はEOS（エンドオブサービス）に注力。

(単位：百万円)

	22.6期第3四半期	23.6期第3四半期	増減
ソフトウェア仮勘定 (BS)	33	47	13
研究開発 (販管費)	31	23	-8
合計	64	70	5

※22.6期は連結、23.6期は個別表記。23.6期Q3から非連結決算に移行したため、前期比較は参考数値

主な販売管理費増減の状況



※22.6期は連結、23.6期は個別表記。23.6期Q3から非連結決算に移行したため、前期比較は参考数値

製品施策の進捗状況

23.6期第3四半期までの取り組み

01

人手不足解消のための
省力化と自動化

▶ AI物流ロボット連携



▶ RFIDオプション機能化※



02

OMO対応
(Online Merges with Online)



03

新たな物流トレンド
への対応

▶ 自動連携実績



※ RFID ... Radio Frequency IDentification (近距離無線通信を利用した自動認識技術) の略。

販売プロモーション活動

LOGISTICS TODAY 特別企画

全物流関係者必見。議論の着地点は予測不能――。



長らく日本のWMS業界をけん引してきたシーネットとロジガードの経営トップが初めて対談。物流倉庫管理システムの現在地と未来を描きます。

2/24(金)15:00 YouTubeライブ配信(無料) [申し込む](#)

オンラインセミナー開催

Q3ではLOGISTICS TODAY様主催で「物流デジタル変革の行方～WMS開発上位2社の経営トップが対談～」と題して、シーネット様との対談の様子を配信。

<https://www.logizard.co.jp/seminars/>



ホワイトペーパー、コラムにて情報発信

物流に課題を抱える方々に情報を提供。

<https://www.logizard.co.jp/news/2023/01/multibook-wp02.html>

<https://www.logizard-zero.com/columns/>



今後の方針

積極的にセミナー開催やホワイトペーパー、Web広告による認知度向上を進めていきます。

株主様・投資家様もご参加可能ですので是非ご参加ください！

2023年11月には、「ロジガードEXPO2023 つながる、クラウドサービス」を開催予定。

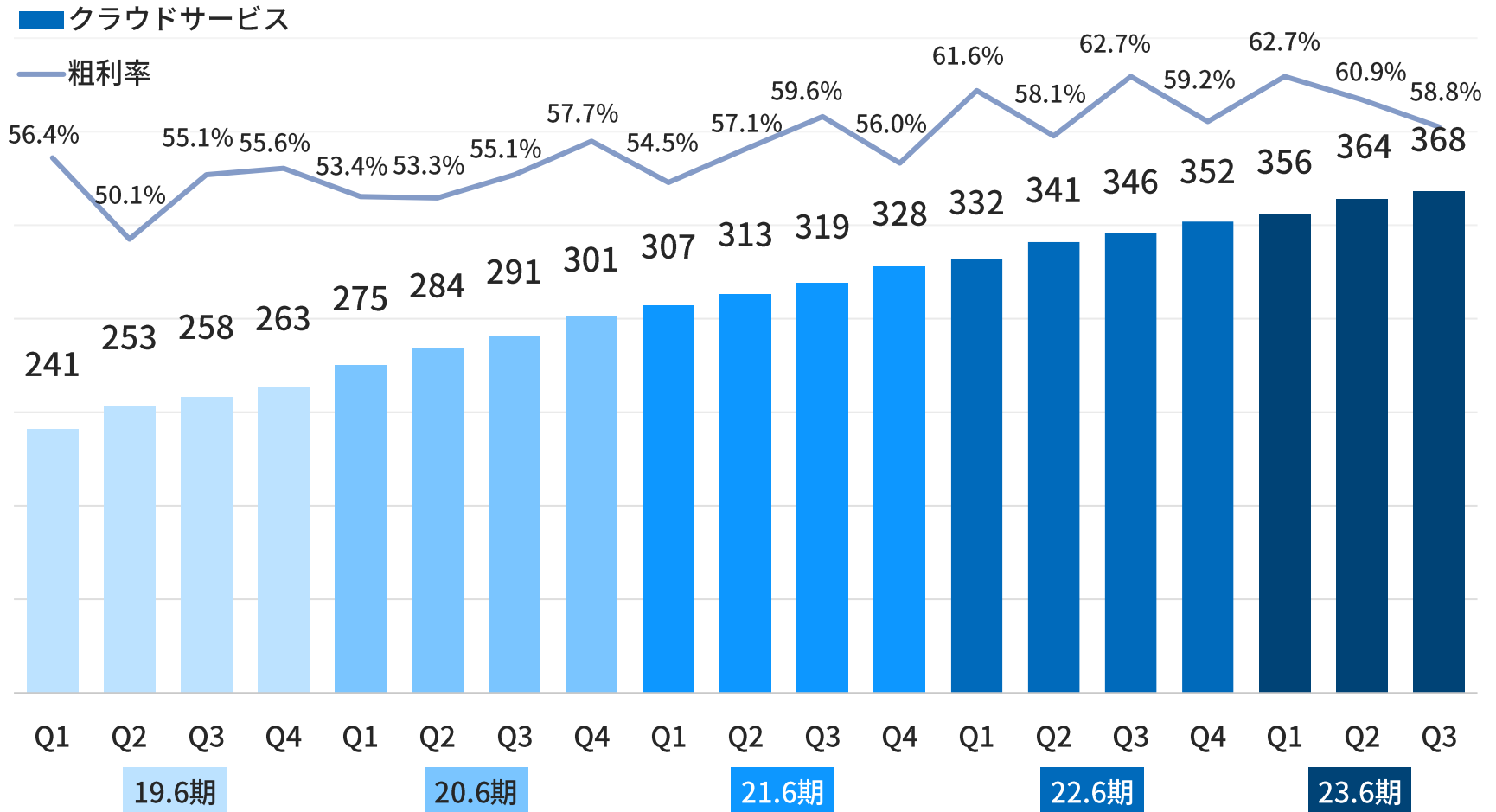
<https://www.logizard.co.jp/expo/>



クラウドサービス売上高推移

月額利用料の積み上げは順調、粗利率は人員増加の人件費を吸収し、前年同期比3.9パーセンテージポイント減少。

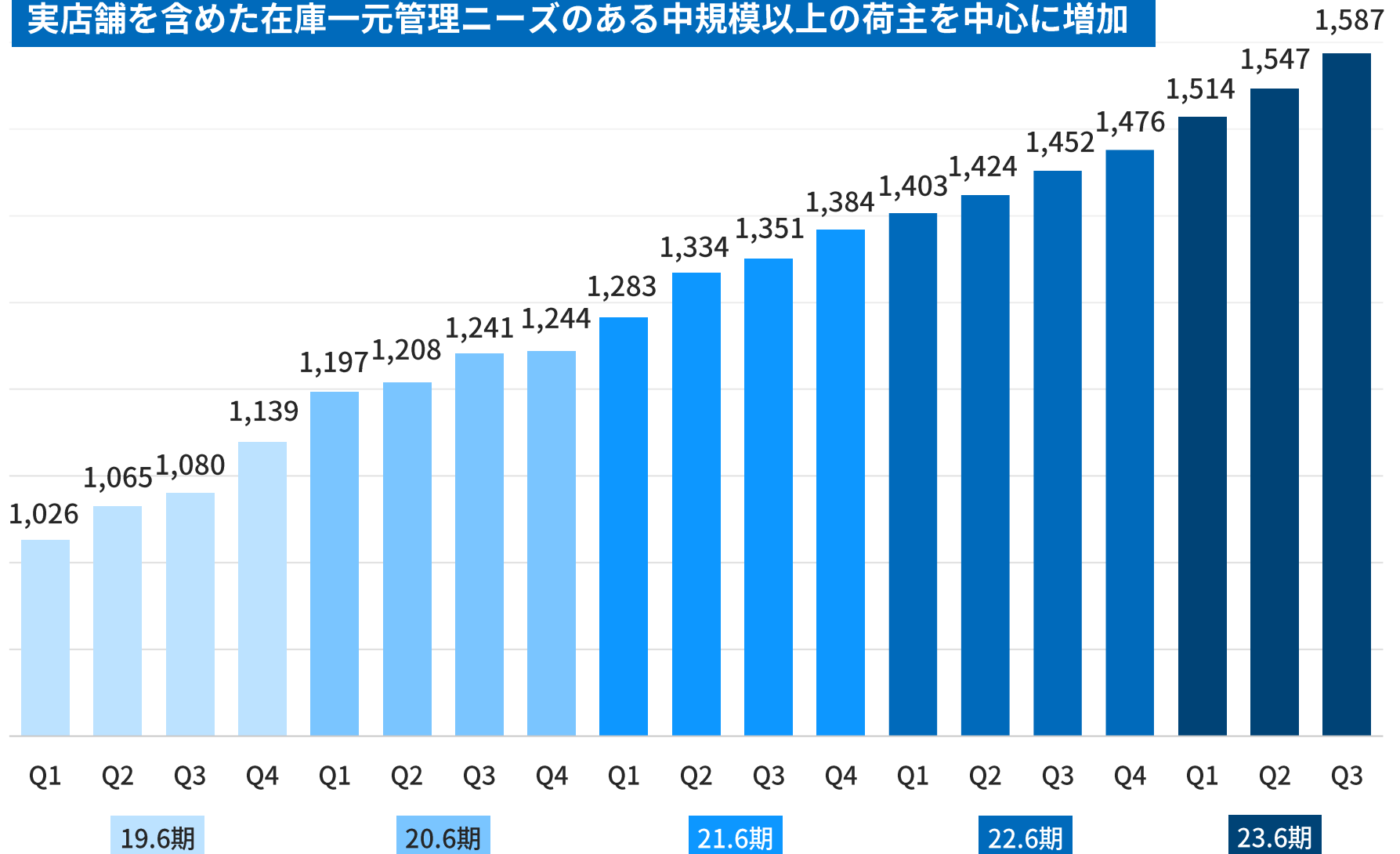
(単位：百万円、%)



アカウント数の推移

(単位：件)

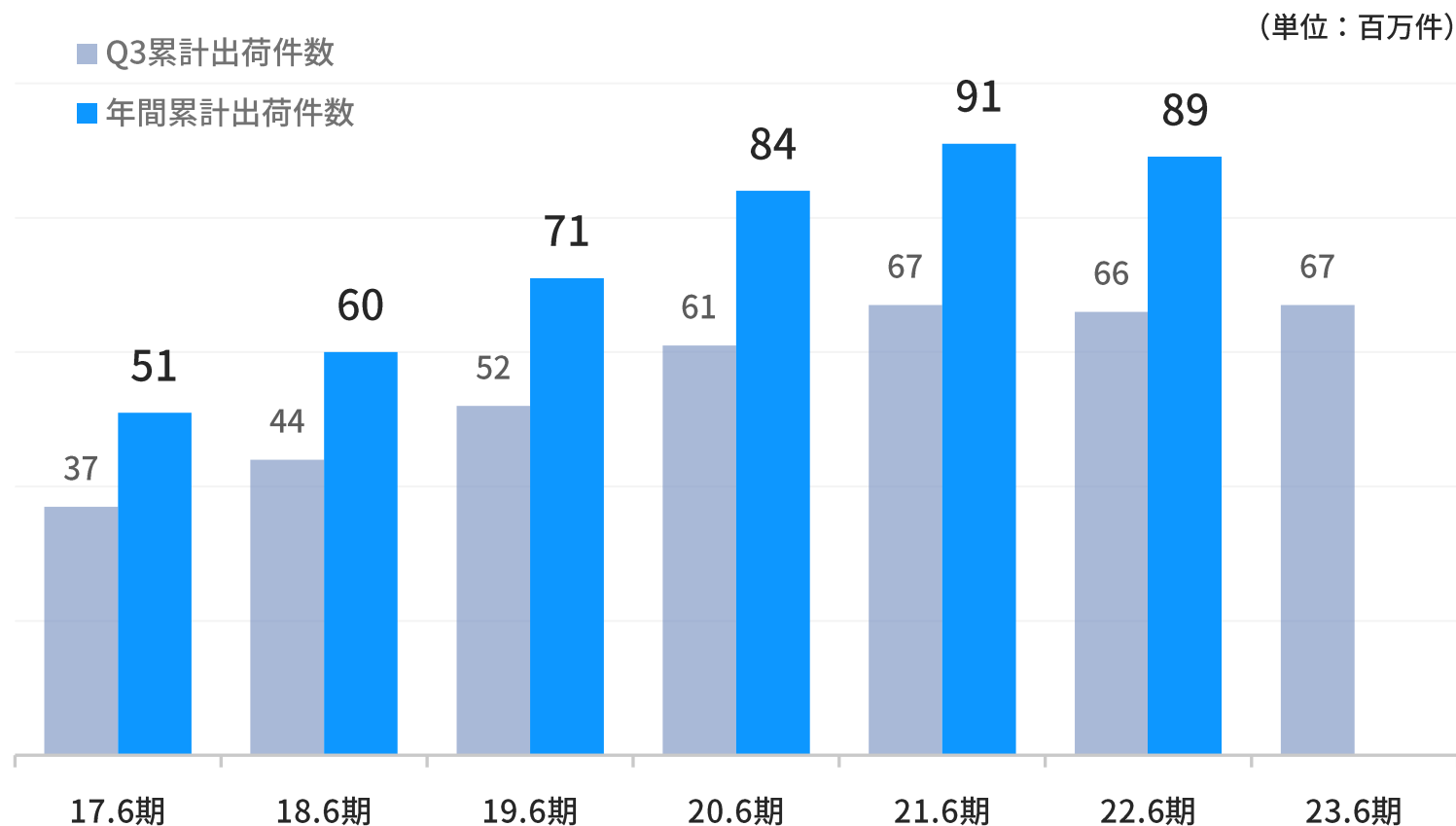
実店舗を含めた在庫一元管理ニーズのある中規模以上の荷主を中心に増加



弊社システムからの出荷件数

出荷件数は前年比2%の増加。

一方で、1出荷あたりの商品点数の顕著な増加トレンドは継続しており、
点数ベースでは前年比18%の増加。配送コストを意識した集約化が見られる。
点数ベースから消費の復調傾向が裏付けられる。



04 23年6月期 第3四半期 決算概要

損益の状況

(単位：百万円、%)

※22.6期は連結、23.6期は個別表記。23.6期Q3から非連結決算に移行したため、前期比較は参考数値

勘定科目	22.6期第3四半期		23.6期第3四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	1,327	100.0%	1,392	100.0%	65	4.9%
クラウドサービス	1,020	76.9%	1,088	78.2%	67	6.6%
開発・導入サービス	243	18.4%	247	17.8%	3	1.6%
機器販売サービス	62	4.7%	56	4.1%	-6	-9.7%
売上原価	620	46.7%	664	47.7%	44	7.2%
売上総利益	706	53.3%	727	52.3%	20	3.0%
販売費及び一般管理費	429	32.3%	484	34.8%	55	12.8%
営業利益	277	20.9%	243	17.5%	-34	-12.3%
経常利益	277	20.9%	243	17.5%	-34	-12.3%
当期純利益	190	14.3%	163	11.7%	-26	-14.0%

財政の状況

(単位：百万円)

※23.6期Q3から非連結決算に移行したため、前期個別決算と比較

勘定科目	22.6期末	23.6期 Q3末	増減額
流動資産	1,558	1,627	68
固定資産	271	245	-25
有形固定資産	32	30	-2
無形固定資産	178	159	-19
投資その他資産	59	56	-3
資産合計	1,829	1,872	43

流動資産増加要因

売掛金の回収などにより現金及び預金が増加

固定資産減少要因

製品開発の一部において、将来の収益獲得が見込めなくなったソフトウェア仮勘定の除却と減価償却費の計上によりソフトウェアが減少

勘定科目	22.6期末	23.6期 Q3末	増減額
流動負債	282	200	-81
固定負債	0	0	0
負債合計	282	200	-81
純資産	1,546	1,671	125
株主資本	1,546	1,671	125
その他の包括利益 累計額	0	0	0
負債純資産合計	1,829	1,872	43

流動負債減少要因

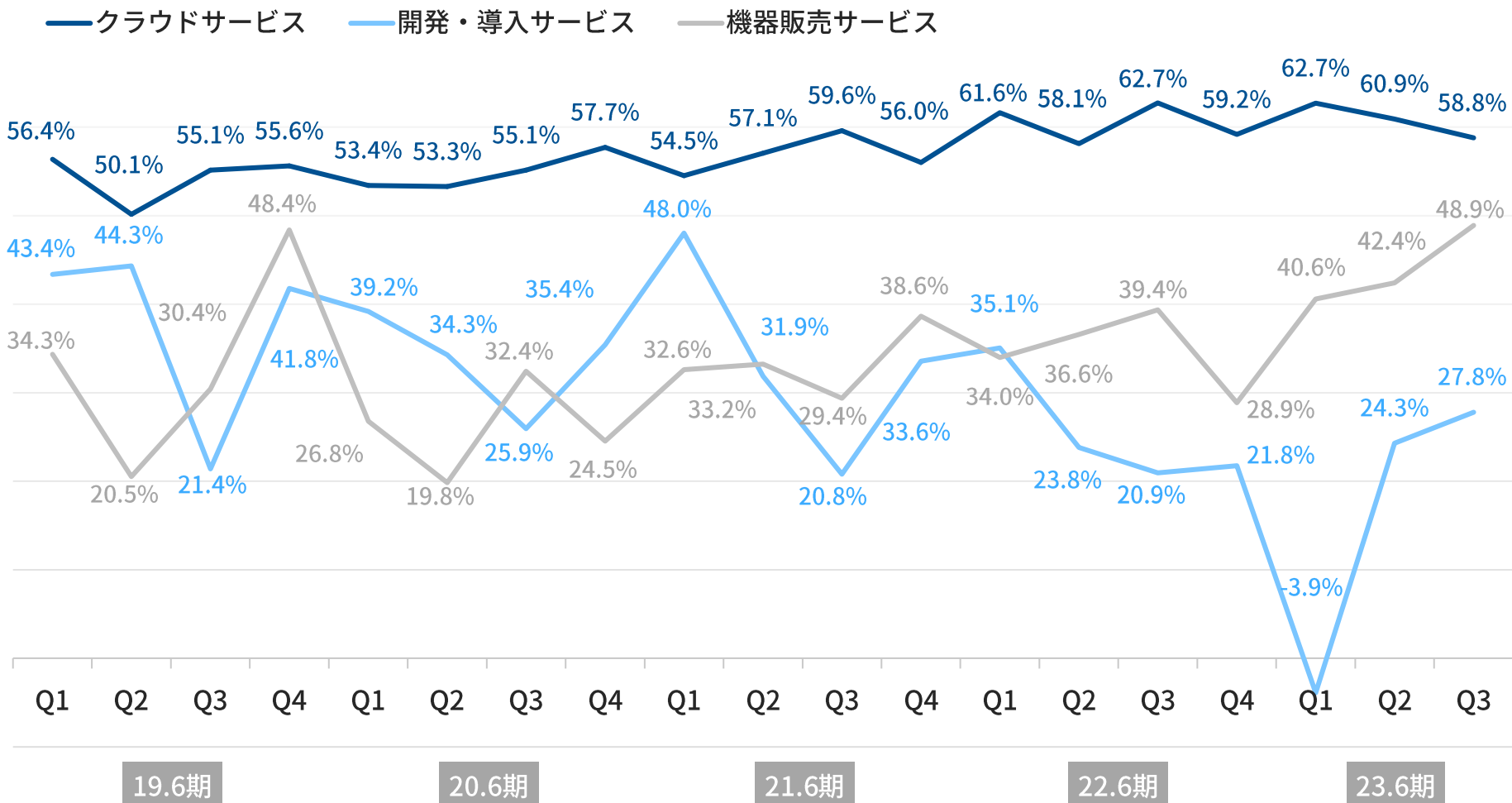
未払法人税等及び未払賞与を支払ったことにより減少

純資産増加要因

四半期純利益の計上による利益剰余金の増加

サービス別粗利率の推移

クラウドサービスの粗利率は人材獲得の先行投資の影響で減少



Appendix

業績やIRニュースをご提供しています。

IR情報ページでご覧いただける主な情報

- ▶ IRニュース
開示した最新情報を掲載。
- ▶ 経営情報
トップメッセージや会社概要を掲載。
- ▶ 業績・財務情報
過去4年間の主要な経営指標の推移を掲載。
- ▶ IRライブラリ
決算発表関連資料、有価証券報告書等のIR資料を掲載。
- ▶ IRカレンダー
決算の開示予定や株主総会の日程を掲載。

IRに関するお問い合わせは[コチラ](#) ▶



IRサイト：<https://www.logizard.co.jp/ir/>

四半期ごとに
オンライン説明会を開催しています。



画像をクリックいただくと、前回開催の説明会内容をご覧になれます。



弊社YouTube
チャンネル



オンライン説明会の内容は、順次、YouTubeにアップしております。
また、過去の開催内容も掲載しております。



弊社IRに関する
お問い合わせフォーム



オンラインへの参加申し込みは、IRに関するお問い合わせフォームに
説明会参加希望の旨をご記入ください。

本資料の取り扱いについて

- ✓ 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- ✓ 別段の記載が無い限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ✓ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

ロジガード株式会社
(証券コード4391)

東京都中央区日本橋人形町三丁目3番6号
URL : <https://www.logizard.co.jp>
Tel : 03-5643-6228



弊社HP